

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 459

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	Tel. 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	Tel. 042-345-1564
サンダリー	小平市小川町 1-943 番地	Tel. 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	Tel. 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	Tel. 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	Tel. 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	Tel. 042-346-0472
地域生活支援センター「あさやけ」	小平市小川東町 4-2-1 番地	Tel. 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	Tel. 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	Tel. 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	Tel. 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	Tel. 042-313-2217



緑の車椅子に乗っている加藤さんから「車椅子が新しくなったので、あさやけだよりに載せて」の要望がありました。「いいよ」と言ったら、すぐにこの写真が送られてきました。

はい、ポーズ

あさやけ風の作業所

四年前と同じ時期に、作業所に入所してきた利用者のエピソードを紹介します。彼の強みは、毎日休まず出勤する事、そして打たれ強いところ。そんな彼は集団の中にあることが苦手で入所当初できる限り人との接点をもたず会話はできるだけ避けていて、朝会では皆から離れた場所でも過ごしていました数か月経ち、一向に誰とも関わらない彼だが、だんだんと距離を縮めようとしている素振りもあり、休み時間に彼の好きなキャッチボールに誘ってみた。最初は「いいです」と断られたが、翌日さりげなくグローブを持参してきた彼。その日からキャッチボールを介して徐々に、周りと関わりが少しずつ始まった。

四年目にして急成長中

あさやけ鷹の台作業所

川村 武士

仕事はうまくできず、始めのうちは、経験の積み重ねを続けていたが、集中できず手遊びをしたり、ほんやりとした様子ですぐに手が止まり最初の一、二年は、五分続けて仕事をし続けることができなかった。仮合い作業では、向きがバラバラになる、持ってくる物を間違える、注意すると、余計にあわててぐちゃぐちゃにすることが日常でした。

職員でも仕事を覚えていけるよう取り組みを考えていった。優しく、厳しく、見本を見せたり、何が失敗してしまったのか考えてもらったりと様々な対応をしたが、いつこうにひびかなかった。何がわからないのか、どうしたら理解しやすいか、どんな事が原因で出来ないのかなどいつかできることを信じて根気よく関わ

り、探っていった。

大きく変わったのは二年前の環境調整。座っていると作業に集中できないことが多い。そのため、立位で作業をはじめたこと。また、とても音に敏感で集中できず、言葉の飛び交う一階の作業場が合わず、二階に変えたことであった。さらに二年続けて学校の後輩が作業所に入りはじめてきたことも刺激になっていたように、徐々に変化がみられてきた。

数年前まで五分間集中し続ける事が出来なかった彼が、最近、封入作業に挑戦すると、二時間で一〇〇部の部材を入れ続けた。この日はいつものように、決められた部材の準備をしたあと、入れ方のコツを伝えた。きっとこの日は何かをつかんだと思う。一定のリズムに乗りハイペースで封入していく。今までの蓄積が一気に噴き出したように黙々と一生懸命に

仕事をした。その速さに周りからも注目され始めた。私はこの彼の成長にとても感動した。何かをきっかけにして理解できると、一気にできるようになったのか。そもそも、日々歩いてその全貌に気付いていなかっただけなのかも。ただ、人はいくつになってもかならず成長できる。そして、その期間はどのくらいかかるかはわからない。と感じました。なによりも、「もう、疲れましたよ」とうれしそうに職員に話しかける姿が印象的でした。

仲間紹介

ひとりひとりが太陽

いろいろなことで頑張っています！



太田 航平さん
(あさやけ鷹の台作業所)



今月登場の太田さんに、自己紹介も兼ねて次の文を書いてもらいました。

「あさやけの職員さんの人間電車の活躍コマ数を増やすことを考えています。プールで泳ぐのも頑張っています。人間電車の号車のメンバーで新しい職員さんが欲しいです。」

太田さんは、二〇一四年にあさやけ鷹の台作業所に入所して四年目になります。

野球チームはセリーグの日ドラゴンズが大好きです。それだけではなく、電車も運動も食べ物など好きなものが沢山あります。

電車のことでは、実在する電車やオリジナルの電車の車両ごとにお気に入り人を採用しています。人間電車を作っています。車両をパソコンで作成して作業所に持ってきてます。

電車に乗ることも好きです。夏休みや冬休みでなくても、一人で福島・新潟・福岡・広島と新幹線に乗ることも大好きです。

運動も欠かせません。プールは夕方から、色々な場所のプールに行つて「キロ以上泳ぐこともあります。」

辛い食べ物の大好き。辛い食べ物が好きあまりに、ハバネロ男も大好きです。でも体型が気になるのでカロリーには敏感です。

昨年は初めて作業所の旅行に参加してプールで泳ぎました。今年の一月には、一人暮らし体験もしています。

今年度はさらに色々な経験を積んで、あさやけ鷹の台作業所のなかまとしての成長が楽しみな人です。



精神障害者のグループホーム 共同ホームサンライズ 祝30年



入居前の状況

1988年～1997年：作業所から10名、病院から短期利用で5名の計15名が入居・利用
 1997年～2005年：作業所8名、入院中3名の計11名が入居
 2005年～2014年：作業所4名、入院中7名、その他1名の計12名が入居
 2014年～2018年：作業所3名、入院中2名、その他4名の計9名が入居
 *「作業所」とはときわ会の作業所をさし、その他の作業所の方等は「その他」へ。47名が入居。

退去後の現在の状況

一人暮らし	15人
自宅	5人
施設・入院	4人
死亡	8人
不明	8人
サンライズ入居中	7人

* 内ときわ会の作業所に通所中の方は15人。一般就労中3人、その他の社会資源利用5名。

提供するサービス

食事の提供：平日の夕食と休日の昼食を提供します。
 家事支援：掃除、洗濯、ゴミ出し、買い物など一緒に練習します。
 相談支援：悩みや困ったことなどを一緒に考えます。
 金銭管理：お金の使い方や銀行での支払いなどお手伝いします。服薬管理や通院同行：お薬の確認や通院など一緒に同行します。
 地域生活移行の支援：アパート探しや引越した後の支援を行います。
 * 個別支援計画にもとづいてその人にあった支援を行います。

入居期間

市区町村のサービス提供期間（3年間）

入居料等

月4万円（食事代・共益費など）
家賃は公費で支払われます。

サンライズ引越
 一九九七年サンライズは現在の小川東町に移ります。アパートとして建設予定中の物件を借り上げ、トイレバス付きのワンルーム七居室と事務室、ホールといった贅沢な生活環境となりました。
 ホームでの生活は、入居者の人たちに「自分の生活」といった自覚や責任が生まれてきました。
 「サンライズですっと生活したい」という方、「サンライズで経験したことを活かしてアパートで生活してみたい」

サンライズがめざすこと
 長年、サンライズがめざしてきたことは、アットホームな雰囲気や大事にしながら食事提供を中心に支援してきたことです。
 朝日を浴びて「さあ今日も頑張ろう」

サンライズ誕生
 精神保健法が公布された一九八七年。あさやけ第二作業所が一〇周年を迎えると次への課題として精神障害者の人たちの住まいについての検討がはじまりました。
 そして翌一九八八年九月、学園東町に待望の共同ホームサンライズが誕生したのです。六名の入居者がともに生活をはじめ、当時は入院中の方の短期利用や体験利用で延一〇数名が利用しました。
 一九八九年に精神障害者社会復帰施設・福祉ホームとして公費を受けるようになりま

通過型グループホームへ
 二〇〇六年障害者自立支援法が施行されると、長期入院患者の地域移行の役割をグループホームが担うこととなります。
 経済的に安定した運営を図るため多くのホームは東京都の「通過型グループホーム」の加算を受けました。サンライズも同様です。結果、三年間の有期限が付きましたが、制度前に入居者については市とも話し合い緩やかにすすめていきました。



18歳の伊藤さんと71歳の青柳さん

入居者の声

サンライズに入居して、自分自身が成長したと思います。自分なりの好きな時間ができて生活リズムが変わりました。特に洗濯や掃除ができるようになりました。作業所もがんばれるようになりました。月一回のデニーズでの食事が楽しいです。(M M)
 * Mさんは作業所でもたくましくなったねと言われるぐらいがんばっている女性です。

すきなテレビが見えた。すきな時間がふえた。朝はやおきができる。夜ふかしができた。ふつうの生活がしたい。(J K)
 * Jさんは5年間の入院を経て昨年10月に入居しました。

食事も美味しいし、未来の自分のことが考えられる時間やみなさんと仲良くできること。デニーズに行くことも楽しい。一人暮らしをして仕事をして自立して暮らしたい。(吉野恵美子)
 * 退院と同時に入居した方です。自分の時間ややりたいことを大切にされています。

みんながかわいがってくれる。いろいろはなしかけてくれる。でんしゃにのれるようになった。田無までかいらいできるようになった。Wサンライズ(作業所とホーム)でがんばる。(伊藤大輝)
 * 伊藤さんは18才、昨年田無特別支援学校を卒業して1月に入居しました。現在、小平福祉園の就労継続B型事業所サンライズに週所しています。

きちんと食事ができること、コーヒーが飲めること。生活保護が受けられて生活を立て直していることが良かったこと。食事のおかげで遅刻もしないで毎日作業所に行けるようになった。しっかり一人暮らしをするにはどうすればいいか教えてほしいです。(T S)
 * 経済的に我慢することが多く、今は自由を得たと。退去後は自立生活と就労が目標です。

野菜や魚などまんべんなく食卓にあがって、しかも服薬が規則正しく摂取できたので日常生活に張り合いができた。今は小休止だが好きな描画ができる生活をしたい。(青柳直哉)
 * 71歳の最高齢。温和で優しい語り口がみなさんを和ませてくれます。

職員から

障害者とかかわりははじめてだったのと、私の作った食事を美味しい美味しいと言ってくれるけど、本当に美味しくできたのかなあとまだまだ緊張です。実際にみなさんとかかわって教えてもらうことばかりです。(遠藤くり子)

温かくてほわっとしている雰囲気が好きです。みんなが残さず食べてくれることも嬉しいですね。みなさんと話をしていると笑顔になります。サンライズを紹介してもらってよかったなあと思っています。(一色暁子)

「一日がはじまり、みんなと食事をし一日が終わる。一日一日の積み重ねが生活です。サンライズを卒業しても生活は続きます。サンライズは三〇年間で五〇名近くの方を支援してきました。みんな「地域で自立生活したい」という目標をもっています。三年間という決められた期間で支援することはとてもむずかしいことですが、作業所とは違い、生活の場であるからこそ、リラックスしながら寄り添っていきたいと思っています。(植木恵理子)

がんばるデーの取り組み報告

あさやけだより一月号署名特集版でお伝えしました通り、今年度で41回目を迎えるきょうされん国会請願署名・募金活動ですが、ときわ会では署名1万2千筆、募金100万円を目標に日々取り組みを続けています。その一環として、一月から小川、東大和市、一橋学園の各駅前において「がんばるデー」と銘打った街頭署名・募金活動を行い、ときわ会各事業所の利用者、職員、父母が一体となって広く市民の方々に協力を呼びかけました。

あさやけ第二作業所では、一月に利用者を対象とした署名学習会を開き、各請願項目について学ぶ機会を持ちましたが、特に自らの生活に直結する「所得保障と生活支援制度の確立」を求める項目を中心に、活発な意見交換がなされました。また、あさやけ風の作業所でも二月に学習会を行ったこともあり、利用者の方々の熱意が例年以上に感じられる街頭署名となりました。

また、昨年よりご参加頂いている父母の方々からも、もっとこうした方がアピールにつながるのではと具体的なアドバイスを頂戴し、とても心強い存在となっています。

今年度のがんばるデーは全六回の開催予定の内、三回が終わりましたが、これまでで署名183筆、募金36,214円が集まりました。残り三回もみんなで力を合わせ、私たちの願いや希望を市民の方々に広く伝えられるよう全力で取り組んでいきたいと思っております。

参加した利用者の感想

大きな声で署名と募金をお願いしますと言いましたが、なかなかやってくれる人はいませんでした。でも何人かの人は、募金をしてくれました。後で聞きましたが、今までの最高額だったそうです。それを聞いて行って良かったと思いました。

亀井 賢太郎



あさやけでは、引き続き署名活動を通じて本当の自立支援に向けた施策拡充を求めています。また、世界水準である障害者権利条約に批准した国として恥じぬよう、障害のある方々が安心して自分らしく働き、暮らせる地域づくりをみなさんと一緒につくりあげたいと思います。

お忙しいとは存じますが、ぜひ署名・募金にご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。

あさやけ署名推進委員長 岩田 輝久
問い合わせ Tel.042-349-2366

開店から3年経ちました

CAZE CAFE なかまちはこの3月で3年がたちました。

日ごろからカフェは公民館や図書館を利用する方によく利用されています。メンバーも日々、ホールや、厨房や、清掃仕事をがんばっています。ホールではいらっしやいませとあいさつし、笑顔で接客するように努めています。何度も来られるお客様とはメンバーも楽しげにお話する場面も見られます。なかまちテラス祭りでは、毎年カフェでいくつかの作業所からの販売品を売るブースを設けています。各作業所からも売り子さんのメンバーも来て接客しています。カフェでは、去年はカレーやかき氷も出し大好評でした。今年の1月30日に福祉会館で行われた仲町公民館の利用者懇談会新年交流会には、あさやけ第一とカフェからメンバーも出張し、コーヒーやお菓子をお出しして会を盛り上げました。



なかまちテラスの来館者50万人記念イベントウィークには、なかまちテラスを日頃支えている地域の方々(LINKS)の情報交換や顔見知りになることを目的とした交流会がありました。カフェは鈴木園さんと日本茶やコーヒー、おまんじゅうやワッフルをお出ししました。内容は小平警察署による、小平市におけるオレオレ詐欺の現状についてというお話やピアノ演奏があり、その後にみなさんとの交流として、グループに分かれて、なかまちテラスに人が来るためにはどうしたらいいかという話し合いをしました。



なかまちテラスの魅力として、公民館や図書館にカフェが併設していることが多くの人からあげられ、なかまちテラスは外からは中が見えない構造になっているので、カフェがあり、子供にも提供できる安価なお菓子もあることを知ってもらうために目立つ看板を出し、外でお菓子をお出しするのはどうだろうなどといった提案がありました。なかまちテラスの集客ためにカフェの活躍が期待されている様子でした。

カフェメンバーは現在5名。実習の方も少しずつ入ってきています。カフェで働くのが目的の方や最終的には就労したいなど、それぞれ課題や目的は違いますが、日々仕事に励んでいます。

CAZE CAFE



<営業日>

月・火・木・金

10:00 ~ 16:00 (4月~11月)

10:00 ~ 15:30 (12月~3月)

第3土曜日 10:00 ~ 14:30

雨天休業



西武拝島線東大和市駅下車 徒歩10分
あさやけ風の作業所内 TEL042-349-2366

コダイブランドの商品紹介

あさやけの染め・織り

手織りストール さくら

桜で染めた糸で織りました。
春らしい軽やかな織りあがりです。

コットン糸、一部麻混合
17cm x 150cm

価格 4000円～



あさやけ風の台作業所 042-346-2167 ブログ: <https://blogs.yahoo.co.jp/takanodaiasayake>

廃品回収のお知らせ

2月の廃品回収の回収量は10,170kgでした。内訳は新聞7,450kg、雑誌・ダンボール2,720kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて168,520円でした。

次回は4月21日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。